

医療機関の災害安全対策 2015

— 災害・感染症に対する医療機関の危機管理訓練のあり方 —

会 場： 2015年3月8日(日)、受付開始：午前8時

会 場： 東京大学伊藤国際学術研究センター地下2階・謝恩ホール (定数800名)

東京都文京区本郷7-3-1。地下鉄丸の内線本郷三丁目駅徒歩10分。東大正門近く。

主 催： 国際医療リスクマネジメント学会 (IARMM)

共 催： 日本予防医学リスクマネジメント学会 (JSRMPM)

受講対象者： 国際医療リスクマネジメント学会の会員、日本予防医学リスクマネジメント学会の会員、
医療従事者、医療産業界関係者、その他。

趣旨： 本教育プログラムは、地震、津波、火山、原発事故、感染症など各種の大災害に対して、全国の医療機関が事前に備える訓練対策がどうあるべきかを学習します。

プログラム

2015年3月8日(日)

午前9時～午前9時30分 特別講演 **医療機関の災害危機管理訓練について**
厚労省 (ご予定)

午前9時30分～午前11時 **パネル討論会 I 医療機関の危機管理訓練の事例**
東大病院における災害対応訓練の概要 橋田要一 (東大病院救急部・災害医療マネジメント部准教授)
災害訓練の企画と概要 白上直樹 (日本赤十字社災害対策企画室参事)
PPE (感染症個人防衛具) の訓練 秋田優子 (国立国際医療研究センター国際感染症センター院内感染管理室)

午前11時～午前12時 特別講演 **災害危機管理訓練の考え方**
目黒公郎 (東大生産技術研究所都市基盤安全工学国際研究センター・センター長、教授)

午後1時～午後2時50分 **パネル討論会 II 医療機関の危機管理訓練シミュレーション**
災害時避難シミュレーション 北上靖大 (構造計画研究所創造工学部部長)
災害訓練シミュレーション 鶴和美穂 (国立病院東京災害医療センター)
感染症パンデミックドリル 秋山健一 (日本医科大学理事長補佐)
総合討論 20分

午後3時～午後4時30分 **パネル討論会 III**
災害危機管理訓練における医療機関間の連携のあり方 石井正三 (日本医師会常任理事)
東日本大震災から見た災害危機管理訓練における医療機関と地域の連携のあり方 安部雅昭 (石巻日赤病院)
総合討論 10分

参加申込締め切り: 2015年2月18日

定数になり次第、締め切ります。

参加費は下記ホームページに掲載した申込書をご覧ください。

医療機関の災害安全対策 2015 事務局

国際医療リスクマネジメント学会

〒113-0033 東京都文京区本郷4-7-12-102

〒113-0033 東京都文京区本郷4-36-2-103

(Tel / Fax) 03--3817-6770

(電子メール) head.office02@iarmm.org

研修会ホームページ <http://www.iarmm.org/J/Disaster2015//>